

質問事項	記述式回答
経済再生と両立する財政健全化	
<p>以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。</p> <p>①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革</p> <p>②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」</p>	<p>住宅・土地統計調査によれば、2013年時点における全国の空き家数は820万戸、総住宅数に占める割合が13.5%と過去最高を記録し、空き家の増加が社会問題となっている。空き家の増加は、住宅ストックの有効活用が図られないだけでなく、放火の恐れなど、周囲の住環境に悪影響を及ぼす。深刻化する「空き家問題」への対応は、実態把握面での課題に加え、住環境整備などから見て、公的サービスの面からも一段とコストアップ要因となる。</p> <p>こうした問題の解決には、地域事情に精通した事業者との連携が重要であり、既に一部の自治体が行っているが、「空き家バンク」の利用促進等において、事業者との情報共有や媒介業務との連携、民間金融機関の提携ローン活用などが有効と考える。また、公営住宅不足等の課題に対しても事業者が把握している「空き家」の積極活用が有効であるほか、中古住宅の流通促進に向け、国が整備を進める建物評価基準の信頼性向上を目指し、事業者や金融機関が取引実績の積み上げるための事業者等へのインセンティブも検討していく必要がある。なお、人口減少や高齢化等を見据えると、空き家問題の抜本対策にはコンパクトシティ推進によるまちづくりが不可欠と考えられるが、こうした動きを加速させるため、空き家や空き店舗を活用する民間事業者の商店街活性化に向けた取り組みやPFI等の民間資金活用を積極化させる政策を強化すべきと考えられる。</p>
<p>2</p> <p>2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	<p>財政健全化目標の設定にあたっては、年々負担が増す社会保障サービスの将来像への考え方の整理が極めて重要であり、年金、医療、介護、少子化対策のどの社会保障サービスをどの程度抑制するのか、あるいは、どのように財源を確保するのかといった点に尽きる。コスト抑制と財源確保の両輪を考えていく上で、経済成長による税収をどの程度見込むかといった議論があるが、その際、地方経済の活性化という側面を重点的に考慮しなければならない。国と地方の格差拡大と言われて久しいが、グローバル化が進展するなかで、これまで地域の核となってきた大手企業と中小企業の関係性が変化してきており、格差の拡大は、中小企業が多く集積するわが国の産業構造にも遠因がある。雇用効果、波及効果が大きな企業の立地だけでなく、新たな展開を模索する地域企業の積極的なサポートといった、地域それぞれの事情に立脚した政策のもとに財政健全化の道筋を図られるよう希望する。</p>